

2008年5月8日

グラフィ株式会社

株式会社オムニサイソフトウェア

グラフィとオムニサイ、構築・運用を可能な限り自動化し、低価格で新たな Web 情報システムを構築することを可能にするインフラを開発

グラフィ株式会社 (<http://www.graphy.co.jp>) (代表取締役 吉村 伸、東京都文京区、資本金 6,000 万円) と、株式会社オムニサイソフトウェア (<http://www.omnisci.co.jp>) (代表取締役 藤原敏樹、東京都文京区、資本金 27,150 万円) は、Web 系システムの構築、運用を可能な限り自動化し、システム構築と、コンテンツ製作に要する期間を短縮し、かつ低価格で新たな Web 情報システムを構築することを可能にするインフラを開発しました。

Web 系システムの構築、運用においては、サーバ、ネットワークの運用管理、構成管理をいかに効率よく行うかが鍵となります。新たに Web 系のサービスを導入する際の人的コストは、プロジェクトコストの大半を占めています。この部分をできる限り自動化することができれば、運用の自動化によるコストダウン以上に大きな効果が得られます。また、利用の増加に対するシステムの増強についても簡単に対応することができるシステムが必須です。

グラフィ株式会社と株式会社オムニサイソフトウェアは、既存のネットワーク、サーバ管理システムの Eden(<http://eden.omnisci.jp>) と、新規に開発したグラフィ CMS (コンテンツマネージメントシステム) を中心として、Firewall/IPS、ロードバランサや、iSCSI ベースのストレージシステムを活用し、DNS を含めた構成管理、運用管理を自動化し、さらに冗長性をもったシステム構成によって、ダウンタイムを最小化した Web ベースのサービス提供のインフラストラクチャを開発しました。

本システムにおいては、コンテンツ作成システムのグラフィ CMS の高度な記述性と、データベースによる多様な認証機能を利用することができ、大半の情報系 Web システムを記述、構築することができます。これにより新たに Web を利用したサービスを立ち上げる際のシステム構築、コンテンツ製作期間を大幅に短縮することができ、かつ運用まで含めたコストを大きく下げることが可能になります。

すべてのサーバ群は、Eden による、SNMP および、IPMI 2.0 ベースの監視管理によって、自動運用されています。Web サーバ群は、ロードバランサの管理下に置くことを原則としており、これをサーバ管理システムと、コンテンツ管理システムによって連続運用します。ストレージシステムとして、iSCSI を使用することで、データベースサーバの冗長化も実現しています。

グラフィ CMS に特有の機能として、任意のコンテンツツリーを任意のホスト名 (ドメインはあらかじめ取得設定することが必要) で Web サーバとしてインターネットに公開することができます。さらに、公開時にはあらかじめ設定されたサーバを利用するようになっており、共用、専用サーバを同じ操作によって、切り替えて設定することができます。CMS が Web サーバの構成、設定変更を自動的に行います。

今後、グラフィ株式会社では、新たに Web 系でのサービスを開始することを検討する企業、団体や、Web

サーバ系の運用管理やコンテンツ管理の改善を検討する方々に対して、本システムの活用を提案していくことを予定しています。本システムの利用は、SaaS 型での利用を基本としています。Web 系サーバは共用、専用を選択することができますので、本システムの管理の下で、柔軟なシステム構築が可能です。

なお、本システムに関しては、複数の特許を申請中です。現在のグラフィが提供するグラフィビジネスポータルサービスはこのシステムの上で稼働しています。

サーバ・ネットワーク管理監視システム Eden について

Eden (<http://eden.omnisci.jp>) は、1999 年以来、株式会社オムニサイソフトウェアによって、開発・販売されているソフトウェアです。株式会社オムニサイソフトウェアは、1999 年 9 月、吉村伸（現グラフィ株式会社代表取締役）が発起人として設立した会社で、インターネットサービスの基盤となるサーバソフトウェアを開発することを主目的として事業を拡大してきています。Eden は、オムニサイソフトウェアの中核プロダクトとして開発を行い、当時吉村が代表を務めたデータセンター事業を行うメディアエクステンジ株式会社 (<http://www.mex.ad.jp>) のネットワーク管理システムとして、その機能を強化していきました。

Eden の最大の特徴は、SNMP などによって収集したサーバやネットワークの各種運用情報を長期保存し、そのデータを Web 技術によって、インターネットのどこからでもいつでもビジュアルライズ、プレイバックできるようにしたという点と、一定の条件によってネットワークの管理情報をスクリーニングし、閾値を超える現象が起きたときには、管理者に通知するほか、自動的にさまざまなアクションを起こす自動運用機能を有していることです。

Eden は、バージョン 2.1 で IPMI 2.0 による、OS に依存しないリモートサーバ運用機能を融合しました。グラフィ株式会社におけるシステム（未公表、プロトタイプ）では、Firewall/IPS、ロードバランサを活用し、より安定した安全な無停止サービスシステムの運用の中心となっています。

また、Eden を開発してきたノウハウは本システムに大きく活用されており、外部サービスを柔軟に追加することが可能となっています。グラフィビジネスポータルサービスには、同じく株式会社オムニサイソフトウェアで開発した高速電子メール配信システム、Paradise Fast Delivery Agent (<http://fda.omnisci.jp>) が、電子メール配信系システムとして組み込まれていますが、この運用も一体的に実現しています。

グラフィ CMS について

多くのバーチャルドメイン型の Web ホスティングサービスでは、管理するドメインは、事業者によってメール・Web の設定があらかじめ決められて提供されています。ユーザは ftp などのファイル転送手段を用いて、手元で作成したコンテンツをサーバにアップロードをすることによって、Web サイトを構築します。

従来、プロモグラフィとしてサービス提供してきました「グラフィ CMS」は、Wiki (MediaWiki) の記法と機能を踏襲した、独自開発の Web コンテンツ作成支援システムですが、html や、他の Web 記述システムには例を見ない、ファイル操作や、イメージデータ、動画データの扱いなどに対する記述性を大幅に強化、拡張しています。そして、作成したページをバーチャルドメイン、ホスト型の Web サイトとして公開する機能を持っています。

(図 1 参照)

グラフィ CMS では、Windows のエクスプローラライクなツリービューを使って、作成したコンテンツを管理できるようになっています。また、イメージデータや、PDF などをアップロードし、コンテンツの一部として編集・利用できるようになっています。

Wiki とは異なり、ユーザはページを管理するにあたり、ディレクトリ（フォルダ）構造を使うことができ、

文書の構成を明示的に管理することもできます。あるドキュメントをトップページとし、そのフォルダ以下を、ひとつのバーチャルホストとして Web サイトにすることができます。この処理は完全に自動化されており、DNS の設定も同時に行い、Web 上の操作だけで、簡単に新しい Web サイトを次々に生成できることが特徴です。

イメージファイルや PDF と同じように、単独のページとしての html コンテンツをアップロードし、CMS で作成したページからリンクして参照することも可能です。これにより、既存のコンテンツを有効に利用することができます。

また、CMS ドキュメント内、html ドキュメント内には一部を除き、JavaScript の記述ができるようになっています。この機能を利用し、外部サービスとの連携を行う複雑な記述も取り入れることができます。

さらに、オーサリングソフトによって作成した html ツリーを一括してアップロードして取り込んだり、指定した URL の既存サイトの内容をそのまま取り込むことも可能になりました。取り込んだ html ツリーは、CMS で作成したページ同様、そのまま任意のサーバ名で公開することが可能です。

これらの機能は、従来のホスティングシステムでサービスしている既存の Web サイトを、より使い勝手が良く強力な CMS ベースのシステムに、ステップを踏みながら順次移行していくことを可能にするものです。

(図 2 参照)

また、独立した DNS の管理機能を実現しました。作成したドキュメントを任意のサーバ名を割り当てて公開できるだけでなく、ドキュメントとは独立して、DNS のホスト (A/AAAA)、別名 (CNAME)、メールの受け取り先 (MX) など、詳細な設定を Web GUI で簡単におこなうことが可能です。

独自ドメインを使い、Web サイトを本サービスで構築し、メールを Google gmail の独自ドメインサービスを利用するといった使い方ができるようになっています。また、特別な機能を必要とする別の Web サイトをグラフィ外のネットワークサービス上に構築し、そのホスト名を DNS に設定することもできます。

これらの機能強化により、本サービスではバーチャルドメイン型の Web ホスティングの機能を取り込み、従来の CMS の機能と連携して、より柔軟で容易な Web サイト構築が可能になっています。

■ グラフィ株式会社

所在地 : 東京都文京区後楽 2-23-9 飯田橋 KM ビル 3 階

代表者 : 吉村伸

電話番号 : 03-6662-6011

URL : <http://www.graphy.co.jp>

■ 株式会社オムニサイソフトウェア

所在地 : 東京都文京区後楽 2-23-9 飯田橋 KM ビル 3 階

代表者 : 藤原敏樹

電話番号 : 03-6662-6012

URL : <http://www.omnisci.co.jp>

■ 本プレスリリースについてのお問い合わせ先

グラフィ株式会社 販売支援部

担当者 : 辻 (つじ)

メールアドレス : info@graphy.ne.jp(mailto:info@graphy.ne.jp)

電話番号 : 03-6662-6011



図 1

***有料会員: 〇〇〇〇様 (グラフィ株式会社 お客様番号 C-〇〇〇〇) のマイページ

マイページトップ | プレスリリース作成・管理 | プロモーションサイト作成・管理 | ヘルプ | ログアウト

グラフィ会員サービス

- ▶ マイテーマの編集
- ▶ マイスクラップ
- ▶ 配信メディア一覧
- ▶ マイリスト管理
- ▶ Promography ログ

会員情報管理

- ▶ 会員情報
- ▶ アカウント情報
- ▶ ドメイン・サイト情報
- ▶ 契約・課金情報

グラフィからのお知らせ

2007/11/14
ベーシックサービスとして、月額1,000円(税別)でマイリスト=メール、FAX 同報配信機能を提供開始しました。また、同時に高速同報メール配信SaaSを提供開始します。

2007/10/24
Newsgraphy 有料サービスを提供開始しました。

2007/10/15
グラフィ・ビジネスポータルをご利用いただくための環境について、をご覧ください。

2007/10/12
よくあるご質問のページを追加しました。

*** 〇〇〇〇.jp DNS 情報**

ドメイン 〇〇〇〇.jp の DNS の設定をおこないます。設定を間違えると、メールが受け取れない、Web が見えない、等の問題が起きる場合があります。十分ご注意ください。
また、Google 社の Google Apps と関係することで、gmail を 〇〇〇〇.jp でご利用いただけるようになります。詳しくは Google 社のサイトをご覧ください。

MX レコード (受信メールサーバ) の設定

	プライオリティ	サーバ名
<input type="checkbox"/>	1	ASPMX.L.GOOGLE.COM
<input type="checkbox"/>	5	ALT1.ASPMX.L.GOOGLE.COM
<input type="checkbox"/>	5	ALT2.ASPMX.L.GOOGLE.COM
<input type="checkbox"/>	10	ASPMX2.GOOGLEMAIL.COM
<input type="checkbox"/>	10	ASPMX3.GOOGLEMAIL.COM
<input type="checkbox"/>	10	ASPMX4.GOOGLEMAIL.COM
<input type="checkbox"/>	10	ASPMX5.GOOGLEMAIL.COM

A レコード (IPv4 アドレス) の設定

プロモグラフィ利用	ホスト名	IPv4 アドレス
<input type="checkbox"/>	develop	218.216.77.58

AAAA レコード (IPv6 アドレス) の設定

プロモグラフィ利用	ホスト名	IPv6 アドレス
<input type="checkbox"/>	develop	2001:298:31c:3::67

CNAME レコード (ホスト別名) の設定

プロモグラフィ利用	ホスト名	サーバ名
<input type="radio"/>	www	peacock.omnisci.co.jp
<input type="radio"/>	sachiko	peacock.omnisci.co.jp
<input type="radio"/>	test	peacock.omnisci.co.jp
<input type="radio"/>	test2	peacock.omnisci.co.jp
<input type="radio"/>	ww	peacock.omnisci.co.jp
<input type="radio"/>	x-layer	peacock.omnisci.co.jp
<input type="radio"/>	esteem	peacock.omnisci.co.jp
<input type="radio"/>	bbs	peacock.omnisci.co.jp
<input type="radio"/>	piyo	peacock.omnisci.co.jp
<input type="checkbox"/>	mail	ghs.google.com
<input type="checkbox"/>	googleffffff80cceed3	google.com
<input type="checkbox"/>	start	ghs.google.com

- エントリを削除するには、項目の左端のチェックボックスをオンにし、「選択したエンTRIESを削除」ボタンを押してください。
- プロモグラフィで「公開」操作をして作成したホスト名 (CNAME エントリとして登録され、プロモグラフィ利用権が○になっています) は、このページでは削除できません。

図 2